

(別表3)

日常検査の結果と措置等

——— こんな時は、どうするの？ ———

検査結果		原因及び対応等
色	赤水が出て、タオル等が着色する。 (赤褐色～黒褐色)	鉄さびの流出 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した鉄管が原因となります。 ・濃度が0.3mg/L以上になると水に色が着き始めます。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・配管の使用材質を確認します。 ・水質検査を行います。 ・常に赤水が出る場合は、配管等の布設替えが必要です。
		鉄細菌の繁殖 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄細菌の配管内での増殖が原因となります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・塩素消毒を強化(遊離残留塩素濃度：0.5mg/L以上)する必要があります。
		マンガンの流出 <ul style="list-style-type: none"> ・水に含まれているマンガンが遊離残留塩素で二酸化マンガンまで十分に酸化されないことが原因となります。 ・濃度が0.05mg/L以下の微量であっても原因となることがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・遊離残留塩素濃度を確認し、塩素消毒を強化します。 ・必要に応じ水質検査を行います。
	青 水	銅の溶出 <ul style="list-style-type: none"> ・濃度が100mg/Lぐらになると水に色が確認できます。 ・給湯施設には、銅管が使用されているが、実際には、このような濃度の銅の溶出は、あまり考えられません。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・洗面器具やタオルの変色(青色)を確認します。 ・変色が認められる場合は、必要に応じて水質検査を行います。
		光の散乱 <ul style="list-style-type: none"> ・象牙色(アイボリー)の水槽に水を入れると光の散乱により青色に見えることがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・受水容器及び観察場所を換え確認します。
黒 水	マンガンの流出 <ul style="list-style-type: none"> ・配管内に付着したマンガンが水流の急激な変化によりはく離したことが考えられます。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査を行います。 	
白 水	亜鉛の溶出 <ul style="list-style-type: none"> ・使用されている配管の材質(亜鉛めっき鋼管)の溶出が考えられます。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> ・配管材質を確認します。 ・亜鉛仕様の配管が使用されている場合は、水質検査を行います。 ・常に白水が出る場合は、配管等の布設替えが必要です。 	

濁り	白濁	微細な気泡の発生 <ul style="list-style-type: none"> 給水管に吸い込まれた空気又は水道水に溶け込んだ空気が微細な気泡となることがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 水道水を透明な容器に入れ、しばらく放置して、下の方から透明になって白い濁りがなくなることを確認します。
	青(緑)濁	緑藻類の発生 <ul style="list-style-type: none"> 受水槽等内での緑藻類の繁殖が考えられます。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 受水槽等内の点検を行います。 受水槽に原因がある場合は、清掃を行います。
異物	蒸発後の白色残留物	ミネラル分の残留 <ul style="list-style-type: none"> 蒸発等が繰り返される容器の底部等に、水に含まれているカルシウムやマグネシウムなどが乾固して、白い付着物となります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> クエン酸で除去することができます。
	洗面所等の淡紅色	色素産生微生物の増殖 <ul style="list-style-type: none"> 空気中の浮遊細菌の中には、洗面台、容器等で増殖し、ピンクに着色するものがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 給水栓水の残留塩素濃度を確認します。 脱塩素の浄水器を使用することによって、この現象を助長することがあります。 水回りの清掃を行います。
	昆虫又は幼虫	設備の不備 <ul style="list-style-type: none"> 受水槽の不備により混入することがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 受水槽の防虫網又はオーバーフロー管の適切な設置等について点検を行います。 不備は直ぐに改善します。
味	収れん味(思わず口をすぼめたくなる苦味)	亜鉛の溶出 <ul style="list-style-type: none"> 使用されている配管の材質(亜鉛めっき鋼管)の溶出が考えられます。 濃度が5mg/L以上になると収れん味を感じるがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 配管材質を確認します。 亜鉛仕様の配管が使用されている場合は、水質検査を行います。 常に白水が出る場合は、配管等の布設替えが必要です。
	金気味	金属類の溶出 <ul style="list-style-type: none"> 使用されている配管の材質(鉄、銅など)の金属の溶出が原因となります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 配管材質を確認します。 原因が考えられる金属の水質検査を行います。
臭い	金気臭	鉄分の溶出 <ul style="list-style-type: none"> 使用されている配管の材質(鉄)の溶出が原因となります。 濃度が0.5mg/L以上になると臭いを感じるがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 配管材質を確認します。 原因と考えられる金属の水質検査を行います。
その他	泡立ち	汚水等の混入 <ul style="list-style-type: none"> 工場排水、生活排水等の混入に由来することがあります。 (対応) <ul style="list-style-type: none"> 受水槽等の亀裂の点検を行います。 改修工事などを行った場合は、配管の誤接合の点検を行います。